

学校コード F140310110767

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

日本経済大学 経営学部 グローバルビジネス学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築育英学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウマチョウ ヤマグチ カツシ
教務部長 山口 勝士

電話番号

092-921-9813

（夜間）

092-922-5131

e-mail

kyoumuka@fk.iue.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営学部

＜グローバルビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

添付資料

FD委員会運営規定	45
SD委員会運営規定	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築育英学園

(2) 大学名

日本経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒818-0197
福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町24-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(ヤスギ サトシ) 八杉 哲 (平成28年4月)	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)	本来、経営学部長:赤瀬朋秀と報告すべきところ、誤って経済学部長:八杉哲の方を記載しておりました。申し訳ありません。訂正させて戴きます。(元)
学科長等	ブルーノ カート クリスチャン (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
 令和4年度に報告する内容 → (4)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
経営学部 グローバルビジネス学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	40 人	— 人	160 人		平成30年度、福岡キャンパスに、入学定員20人、收容定員80人で設置しましたが、平成31年度、東京渋谷キャンパスにも入学定員20人、收容定員80人で追加設置いたしました。(変更年月:平成30年6月25日届出)(元)
	経済学関係						
	経済学関係						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	20人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	0.67 倍	0.72 倍	
志願者数	19 (-) [1]	0 () []	51 (-) [-]	0 () []	214 (-) [3]	() []	86 (-) [9]	() []	45 (2) [8]	() []			
受験者数	19 (-) [1]	0 () []	49 (-) [-]	0 () []	200 (-) [3]	() []	78 (-) [8]	() []	41 (2) [8]	() []			
合格者数	19 (-) [1]	0 () []	44 (-) [-]	0 () []	92 (-) [3]	() []	41 (-) [4]	() []	23 (1) [8]	() []			
B 入学者数	19 (-) [1]	0 () []	25 (-) [-]	0 () []	37 (-) [3]	() []	26 (-) [4]	() []	20 (1) [8]	() []			
入学定員超過率 B/A	0.95		0.62		0.92		0.65		0.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	19 [1] (-)	0 [] ()	25 [-] (-)	0 [] ()	37 [3] (-)	0 [] ()	26 [8] ()		20 [9] ()		
2年次	/		17 [1] (-)	0 [] ()	24 [-] (-)	0 [] ()	30 [3] (-)		24 [9] ()		
3年次			/		/		16 [1] (-)	0 [] ()	20 [-] (-)		30 [7] ()
4年次	/						/		/		15 [1] (-)
計			19 [1] (-)		42 [1] (-)						77 [4] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	19人	2人	平成30年度	2人	0人	就職(2人)
令和元年度	42人	2人	平成30年度	1人	0人	他の教育機関への転学(1人)
			令和元年度	1人	0人	経済的困窮(1人)
令和2年度	77人	12人	平成30年度	1人	0人	他の教育機関への転学(1人)
			令和元年度	4人	0人	修学意欲の低下(1人)、学力不足(1人)、就職(1人)、他の教育機関への転学(1人)
			令和2年度	7人	0人	修学意欲の低下(4人)、学力不足(2人)、その他(教職免許取得のため経済学科へ転学科(1人))
令和3年度	91人	7人	平成30年度	1人	0人	修学意欲の低下(1人)
			令和元年度	3人	0人	修学意欲の低下(2人)、経済的困窮(1人)
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	3人	0人	学力不足(1人)、その他(他学科への転学科(2人))
令和4年度	92人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		23人		23人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{19} = \boxed{10.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{42} = \boxed{4.76} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{77} = \boxed{15.58} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{91} = \boxed{7.69} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{92} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	1			1						
	英語 I B	1後	1			1						
	英語 II A	1前	1			1						
	英語 II B	1後	1			1						
	英語 III A	1前	1			1						
	英語 III B	1後	1			1						
	英語 IV A	1前	1				1					
	英語 IV B	1後	1				1					
	英語 V A	2前	1								1	
	英語 V B	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	1								1	
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	1								1	
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	1								1	
	中国語 I A	1前	1								1	
	中国語 I B	1後	1								1	
	中国語 II A	2前	1								1	
	中国語 II B	2後	1								1	
	中国語 III A	3前	1								1	
	中国語 III B	3後	1								1	
	ドイツ語 I A	1前	1								1	
	ドイツ語 I B	1後	1								1	
	ドイツ語 II A	2前	1								1	
	ドイツ語 II B	2後	1								1	
	フランス語 I A	1前	1								1	
	フランス語 I B	1後	1								1	
	フランス語 II A	2前	1								1	
	フランス語 II B	2後	1								1	
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2								1	
	哲学 II	1後	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	日本史 I	1前	2			1						
	日本史 II	1後	2			1						
	西洋史	1前	2								1	
	東洋史	1後	2								1	
	文学	1前	2					1				
	倫理学 I	1前	2								1	
	倫理学 II	1後	2								1	
	地理学 I	1前	2								1	
	地理学 II	1後	2								1	
地域再発見	1前	2								1		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	2			1						1
	英語 I B	1後	2			1						1
	英語 II A	1前	2			1						1
	英語 II B	1後	2			1						1
	英語 III A	1前	2			1			1			
	英語 III B	1後	2			1			1			
	英語 IV A	2前	2						2			
	英語 IV B	2後	2						2			
	英語 V A	2前	1						1	1		
	英語 V B	2後	1						1	1		
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2						2			1
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2						2			1
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2						3			
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2						3			
	中国語 I A	1前	2									3
	中国語 I B	1後	2									3
	中国語 II A	2前	2									2
	中国語 II B	2後	2									2
	中国語 III A(廃止科目:令3)	3前	1									1
	中国語 III B(廃止科目:令3)	3後	1									1
	ドイツ語 I A	1前	2									2
	ドイツ語 I B	1後	2									2
	ドイツ語 II A	2前	2									2
	ドイツ語 II B	2後	2									2
	フランス語 I A	1前	2									2
	フランス語 I B	1後	2									2
	フランス語 II A	2前	2									2
	フランス語 II B	2後	2									2
スペイン語 I A	1前	2									2	
スペイン語 I B	1後	2									2	
スペイン語 II A	2前	2									2	
スペイン語 II B	2後	2									2	
ロシア語 I A	1前	2									2	
ロシア語 I B	1後	2									2	
ロシア語 II A	2前	2									2	
ロシア語 II B	2後	2									2	
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2									2
	哲学 II	1後	2									2
	心のしくみと行動の科学	1前	2									2
	日本史 I	1前	2						1			1
	日本史 II	1後	2						1			1
	西洋史	1前	2						1			1
	東洋史	1後	2									2
	文学をよむ文化を知る	1前	2									2
	倫理学 I	1前	2									2
	倫理学 II	1後	2									2
	地理学 I	1前	2									2
	地理学 II	1後	2									2
地域再発見	1前	2									2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会科学系	社会学概論	1後	2								1
	政治学Ⅰ	1前	2		1						
	政治学Ⅱ	1後	2		1						
	憲法Ⅰ	1前	2								1
	憲法Ⅱ	1後	2								1
自然科学系	生物学	1前	2								1
	数学	1前	2								1
	ビジネス統計	1後	2								1
	ソシオ・バイオロジー	1後	2								1
	環境論	1前	2								1
基礎保健体育系	健康科学	1前	2								1
	スポーツA	1前	1								1
	スポーツB	1後	1								1
	小計(54科目)	-									
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1					
	S.D.Seminar B	1後	2			1					
	地域貢献Ⅰ	1後	2			1					
	情報リテラシー基礎A	1前	2								1
	情報リテラシー基礎B	1後	2								1
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2			1					
	基礎ゼミA	2前	2			1					
	基礎ゼミB	2後	2			1					
	地域貢献Ⅱ	2後	2			1					
	情報リテラシー応用A	2前	2					1			
	情報リテラシー応用B	2後	2					1			
	キャリアデザインⅠA	2前	2								1
	キャリアデザインⅠB	2後	2								1
	インターンシップ	2前	2								1
	インターンシップ(実習)	2前	2								1
	リーダーシップⅠA	2前	2				1				
	リーダーシップⅠB	2後	2				1				
	専門ゼミⅠA	3前	2				1				
	専門ゼミⅠB	3後	2				1				
	キャリアデザインⅡA	3前	2								1
キャリアデザインⅡB	3後	2								1	
リーダーシップⅡA	3前	2				1					
リーダーシップⅡB	3後	2				1					
専門ゼミⅡA	4前	2				1					
専門ゼミⅡB	4後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学系	社会学概論	1後	2					1				2
	政治学Ⅰ	1前	2			1						1
	政治学Ⅱ	1後	2			1						1
	くらしと法	1前	2					1				1
	日本国憲法	1後	2					1				1
自然科学系	動植物の体のしくみ	1前	2									2
	文系のための数学	1前	2									2
	数字でよみとくビジネス	1後	2									2
	動植物の進化のしくみ(福岡・未開講)	1後	2									1
	環境と社会生活	1前	2									2
基礎科目 情報科学系	情報リテラシーⅠ(ビジネススキル)	1前	2									2
	情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス)	1後	2									2
	情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎)	2前	2									2
	情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)	2後	2									2
基礎保健体育系	健康科学	1前	2									2
	スポーツA	1前	1									2
	スポーツB	1後	1									2
	スポーツ	1前後										2
	小計(67科目)	-										
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2					1				1
	S.D.Seminar B	1後	2					1				1
	地域貢献Ⅰ	1後	2					1				1
	地域防災論(渋谷未開講)	1前	2					2				1
	キャリアデザインⅠA	1前	2					1				1
	キャリアデザインⅠB	1後	2					1				1
	情報リテラシー基礎A	1前	2									2
	情報リテラシー基礎B	1後	2									2
	ROSE(海外研修)Ⅰ	1前	2							1		1
	基礎ゼミA	2前	2					1				1
	基礎ゼミB	2後	2					1				1
	地域貢献Ⅱ	2後	2					1				1
	情報リテラシー応用A	2前	2									2
	情報リテラシー応用B	2後	2									2
	キャリアデザインⅡA	2前	2									2
	キャリアデザインⅡB	2後	2									2
	インターンシップ	2前	2									2
	インターンシップ(実習)	2前	2									2
	リーダーシップⅠA	2前	2					1				1
	リーダーシップⅠB	2後	2					1				1
ROSE(海外研修)Ⅱ	2前								1		1	
専門ゼミⅠA	3前	2					2	2	1			
専門ゼミⅠB	3後	2					2	2	1			
キャリアデザインⅢA	3前	2					1				1	
キャリアデザインⅢB	3後	2					1				1	
リーダーシップⅡA	3前	2						1			1	
リーダーシップⅡB	3後	2						1			1	
ROSE(海外研修)Ⅲ	3前								1		1	
専門ゼミⅡA	4前	2					2				1	
専門ゼミⅡB	4後	2					2				1	
卒業論文A	4前						2				1	
卒業論文B	4後						2				1	
卒業研究	4通						4					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								1
	経営学 B	1後	2								1
	経済学 A	1前		2		1					
	経済学 B	1後		2		1					
	簿記原理 I A	1前		2							1
	簿記原理 I B	1後		2							1
	アカデミックライティング I A	1前		1		1					
	アカデミックライティング I B	1後		1		1					
	総合英語 I A	1前		1							1
	総合英語 I B	1後		1							1
	マーケティング論 A	2前		2		1					
	マーケティング論 B	2後		2		1					
	会計学 A	2前		2							1
	会計学 B	2後		2							1
	情報処理論 A	2前		2							1
	情報処理論 B	2後		2							1
	経営組織論	2前		2							1
	会社法	2後		2							1
	資源環境・エネルギー論	2前		2							1
	アカデミックライティング II A	2前		1		1					
	アカデミックライティング II B	2後		1		1					
	総合英語 II A	2前		1		1					
	総合英語 II B	2後		1		1					
	国際関係論	2前		2							1
	国際経済学A	2前		2		1					
	国際経済学B	2後		2		1					
	国際経営論	3前		2							1
	ICTビジネス講座	3前		2							1
	経営管理論A	3前		2							1
経営管理論B	3後		2							1	
外書講読	3前		2				1				
ホスピタリティ ビジネス	3後		2							1	
国際政治外交史	4前		2							1	
国際金融論	4後		2							1	
小計(59科目)		-									
合計(113科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								2
	経営学 B	1後	2								2
	経済学 A	1前		2		1					1
	経済学 B	1後		2		1					1
	簿記入門	1前		2							2
	簿記初級	1後		2							2
	アカデミックライティング I A	1前		1				2			
	アカデミックライティング I B	1後		1				2			
	総合英語 I A	1前		1							2
	総合英語 I B	1後		1							2
	EIP(インテグ海外研修) I	1前		2				1			1
	マーケティング論 A	2前		2		1					1
	マーケティング論 B	2後		2		1					1
	会計学 A	2前		2							2
	会計学 B	2後		2							2
	情報処理論 A	2前		2							2
	情報処理論 B	2後		2							2
	経営組織論	2前		2				1			1
	会社法	2後		2				1			1
	資源環境・エネルギー論	2前		2							2
	アカデミックライティング II A	2前		1				1	1		
	アカデミックライティング II B	2後		1				1	1		
	総合英語 II A	2前		1		1					1
	総合英語 II B	2後		1		1					1
	EIP(インテグ海外研修) II	2前		2				1			1
	国際関係論	2前		2					1		1
	国際経済学A	2前		2		1					1
	国際経済学B	2後		2		1					1
	Eアラインビジネス論	2後		2							2
Eアライン実務A	2前		2							1	
Eアライン実務B	2前		2							1	
国際経営論	3前		2							2	
ICTビジネス講座	3前		2							2	
経営管理論A	3前		2					1		1	
経営管理論B	3後		2					1		1	
外書講読	3前		2				1			1	
ホスピタリティ ビジネス	3後		2							2	
航空産業論	3後		2							1	
国際政治外交史	4前		2				1			1	
国際金融論	4後		2							2	
小計(73科目)		-									
合計(140科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前	1			1						
	英語ⅠB	1後	1			1						
	英語ⅡA	1前	1			1						
	英語ⅡB	1後	1			1						
	英語ⅢA	1前	1				1					
	英語ⅢB	1後	1				1					
	英語ⅣA	1前	1								1	
	英語ⅣB	1後	1								1	
	英語ⅤA	2前	1									
	英語ⅤB	2後	1									
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前	1									
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後	1									
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前	1									
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後	1									
	中国語ⅠA	1前	1									1
	中国語ⅠB	1後	1									1
	中国語ⅡA	2前	1									
	中国語ⅡB	2後	1									
	中国語ⅢA	3前	1									
	中国語ⅢB	3後	1									
	ドイツ語ⅠA	1前	1									1
	ドイツ語ⅠB	1後	1									1
	ドイツ語ⅡA	2前	1									
	ドイツ語ⅡB	2後	1									
	フランス語ⅠA	1前	1									1
	フランス語ⅠB	1後	1									1
フランス語ⅡA	2前	1										
フランス語ⅡB	2後	1										
基礎科目 人文学系	哲学Ⅰ	1前	2									1
	哲学Ⅱ	1後	2									1
	心理学	1前	2									1
	日本史Ⅰ	1前	2			1						
	日本史Ⅱ	1後	2			1						
	西洋史	1前	2									1
	東洋史	1後	2									1
	文学	1前	2					1				
	倫理学Ⅰ	1前	2									1
	倫理学Ⅱ	1後	2									1
	地理学Ⅰ	1前	2									1
	地理学Ⅱ	1後	2									1
地域再発見	1前	2									1	
社会科学系 基礎科目	社会学概論	1後	2									1
	政治学Ⅰ	1前	2			1						
	政治学Ⅱ	1後	2			1						
	憲法Ⅰ	1前	2									1
憲法Ⅱ	1後	2									1	
自然科学系 基礎科目	生物学	1前	2									1
	数学	1前	2									1
	ビジネス統計	1後	2									1
	ソシオ・バイオロジー	1後	2									1
	環境論	1前	2									1
体育系 基礎保健	健康科学	1前	2									1
	スポーツA	1前	1									1
	スポーツB	1後	1									1
小計(54科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前	1			1						1	
	英語ⅠB	1後	1			1						1	
	英語ⅡA	1前	1						1			1	
	英語ⅡB	1後	1						1			1	
	英語ⅢA	1前	1							1		1	
	英語ⅢB	1後	1							1		1	
	英語ⅣA	1前	1									2	
	英語ⅣB	1後	1									2	
	英語ⅤA	2前	1									1	
	英語ⅤB	2後	1									1	
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前	1									1	
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後	1									1	
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前	1										
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後	1										
	中国語ⅠA	1前	1										2
	中国語ⅠB	1後	1										2
	中国語ⅡA	2前	1										1
	中国語ⅡB	2後	1										1
	中国語ⅢA	3前	1										
	中国語ⅢB	3後	1										
	ドイツ語ⅠA	1前	1										2
	ドイツ語ⅠB	1後	1										2
	ドイツ語ⅡA	2前	1										1
	ドイツ語ⅡB	2後	1										1
	フランス語ⅠA	1前	1										2
	フランス語ⅠB	1後	1										2
フランス語ⅡA	2前	1										1	
フランス語ⅡB	2後	1										1	
スペイン語ⅠA	1前	1										2	
スペイン語ⅠB	1後	1										2	
スペイン語ⅡA	2前	1											
スペイン語ⅡB	2後	1											
基礎科目 人文学系	哲学Ⅰ	1前	2										2
	哲学Ⅱ	1後	2										2
	心のしくみと行動の科学	1前	2										2
	日本史Ⅰ	1前	2										2
	日本史Ⅱ	1後	2										2
	西洋史	1前	2										2
	東洋史	1後	2										2
	文学をよむ文化を知る	1前	2										2
	倫理学Ⅰ	1前	2										2
	倫理学Ⅱ	1後	2										2
	地理学Ⅰ	1前	2										2
	地理学Ⅱ	1後	2										2
地域再発見	1前	2										2	
社会科学系 基礎科目	社会学概論	1後	2										2
	政治学Ⅰ	1前	2			1							1
	政治学Ⅱ	1後	2			1							1
	くらしと法 日本国憲法	1前 1後	2 2										2 2
自然科学系 基礎科目	動植物の体のしくみ	1前	2										2
	文系のための数学	1前	2										2
	数字でよみとくビジネス	1後	2										2
	動植物の進化のしくみ	1後	2										2
	環境と社会生活	1前	2										2
体育系 基礎保健	健康科学	1前	2										2
	スポーツA	1前	1										2
	スポーツB	1後	1										2
小計(58科目)	-												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1						
	S.D.Seminar B	1後	2			1						
	地域貢献 I	1後	2			1						
	情報リテラシー基礎 A	1前	2								1	
	情報リテラシー基礎 B	1後	2								1	
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2			1						
	基礎ゼミ A	2前	2									
	基礎ゼミ B	2後	2									
	地域貢献 II	2後	2									
	情報リテラシー応用 A	2前	2									
	情報リテラシー応用 B	2後	2									
	キャリアデザイン IA	2前	2									
	キャリアデザイン IB	2後	2									
	インターンシップ	2前	2									
	インターンシップ(実習)	2前	2									
	リーダーシップ IA	2前	2									
	リーダーシップ IB	2後	2									
	専門ゼミ IA	3前	2									
	専門ゼミ IB	3後	2									
	キャリアデザイン II A	3前	2									
キャリアデザイン II B	3後	2										
リーダーシップ II A	3前	2										
リーダーシップ II B	3後	2										
専門ゼミ II A	4前	2										
専門ゼミ II B	4後	2										
卒業論文 A	4前	2			1							
卒業論文 B	4後	2			1							
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								1	
	経営学 B	1後	2								1	
	経済学 A	1前	2		1							1
	経済学 B	1後	2		1							1
	簿記原理 IA	1前	2								1	
	簿記原理 IB	1後	2								1	
	アカデミックライティング IA	1前	1		1							1
	アカデミックライティング IB	1後	1		1							1
	総合英語 IA	1前	1								1	
	総合英語 IB	1後	1								1	
	マーケティング論 A	2前	2									
	マーケティング論 B	2後	2									
	会計学 A	2前	2									1
	会計学 B	2後	2									1
	情報処理論 A	2前	2									1
	情報処理論 B	2後	2									1
	経営組織論	2前	2									1
	会社法	2後	2									1
	資源環境・エネルギー論	2前	2									1
	アカデミックライティング II A	2前	1									
アカデミックライティング II B	2後	1										
総合英語 II A	2前	1										
総合英語 II B	2後	1										
国際関係論	2前	2									1	
国際経済学 A	2前	2										
国際経済学 B	2後	2										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1						
	S.D.Seminar B	1後	2			1						
	地域貢献 I	1後	2						1			1
	情報リテラシー基礎 A	1前	2									2
	情報リテラシー基礎 B	1後	2									2
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2			1						1
	基礎ゼミ A	2前	2						1			
	基礎ゼミ B	2後	2						1			
	地域貢献 II	2後	2						1			
	情報リテラシー応用 A	2前	2							1		
	情報リテラシー応用 B	2後	2							1		
	キャリアデザイン IA	2前	2									1
	キャリアデザイン IB	2後	2									1
	インターンシップ	2前	2									1
	インターンシップ(実習)	2前	2									1
	リーダーシップ IA	2前	2							1		
	リーダーシップ IB	2後	2							1		
	専門ゼミ IA	3前	2									
	専門ゼミ IB	3後	2									
	キャリアデザイン II A	3前	2									
キャリアデザイン II B	3後	2										
リーダーシップ II A	3前	2										
リーダーシップ II B	3後	2										
専門ゼミ II A	4前	2										
専門ゼミ II B	4後	2										
卒業論文 A	4前	2										
卒業論文 B	4後	2										
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2							1		1
	経営学 B	1後	2							1		1
	経済学 A	1前	2		1							1
	経済学 B	1後	2		1							1
	簿記原理 IA	1前	2									2
	簿記原理 IB	1後	2									2
	アカデミックライティング IA	1前	1		1							1
	アカデミックライティング IB	1後	1		1							1
	総合英語 IA	1前	1									2
	総合英語 IB	1後	1									2
	マーケティング論 A	2前	2						1			
	マーケティング論 B	2後	2						1			
	会計学 A	2前	2									1
	会計学 B	2後	2									1
	情報処理論 A	2前	2									1
	情報処理論 B	2後	2									1
	経営組織論	2前	2									1
	会社法	2後	2									1
	資源環境・エネルギー論	2前	2									1
	アカデミックライティング II A	2前	1							1		
アカデミックライティング II B	2後	1							1			
総合英語 II A	2前	1							1			
総合英語 II B	2後	1							1			
国際関係論	2前	2									1	
国際経済学 A	2前	2							1			
国際経済学 B	2後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国際経営論	3前		2								
	ICTビジネス講座	3前		2								
	経営管理論A	3前		2								
	経営管理論B	3後		2								
	外書講読	3前		2								
	ホスピタリティ ビジネス	3後		2								
	国際政治外交史	4前		2								
	国際金融論	4後		2								
	小計(61科目)	-										
合計(115科目)			-									
卒業要件及び履修方法												
<p>大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国際経営論	3前		2								
	ICTビジネス講座	3前		2								
	経営管理論A	3前		2								
	経営管理論B	3後		2								
	外書講読	3前		2								
	ホスピタリティ ビジネス	3後		2								
	国際政治外交史	4前		2								
	国際金融論	4後		2								
	小計(61科目)	-										
合計(123科目)			-									
卒業要件及び履修方法												
<p>大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	1			1				1
	英語 I B	1後	1			1				1
	英語 II A	1前	1			1				1
	英語 II B	1後	1			1				1
	英語 III A	1前	1			1				1
	英語 III B	1後	1			1				1
	英語 IV A	1前	1							2
	英語 IV B	1後	1							2
	英語 V A	2前	1			1				1
	英語 V B	2後	1			1				1
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	1				1			1
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	1				1			1
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	1				1			
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	1				1			
	中国語 I A	1前	1							2
	中国語 I B	1後	1							2
	中国語 II A	2前	1							2
	中国語 II B	2後	1							2
	中国語 III A	3前	1							1
	中国語 III B	3後	1							1
	ドイツ語 I A	1前	1							2
	ドイツ語 I B	1後	1							2
	ドイツ語 II A	2前	1							2
	ドイツ語 II B	2後	1							2
	フランス語 I A	1前	1							2
	フランス語 I B	1後	1							2
	フランス語 II A	2前	1							2
	フランス語 II B	2後	1							2
	スペイン語 I A(渋谷:未開講)	1前	1							1
	スペイン語 I B(渋谷:未開講)	1後	1							1
スペイン語 II A(渋谷:未開講)	2前	1							1	
スペイン語 II B(渋谷:未開講)	2後	1							1	
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2			1				1
	哲学 II	1後	2			1				1
	心のしくみと行動の科学	1前	2							2
	日本史 I	1前	2							2
	日本史 II	1後	2							2
	西洋史	1前	2							2
	東洋史	1後	2							2
	文学をよむ文化を知る	1前	2							2
	倫理学 I	1前	2							2
	倫理学 II	1後	2							2
	地理学 I	1前	2							2
	地理学 II	1後	2							2
	地域再発見	1前	2							2

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	2			1				1
	英語 I B	1後	2			1				1
	英語 II A	1前	2			1				1
	英語 II B	1後	2			1				1
	英語 III A	1前	2			1			1	
	英語 III B	1後	2			1			1	
	英語 IV A	2前	2						2	
	英語 IV B	2後	2						2	
	英語 V A	2前	1					1	1	
	英語 V B	2後	1					1	1	
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2					1		1
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2					1		1
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2					2		
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2					2		
	中国語 I A	1前	2							2
	中国語 I B	1後	2							2
	中国語 II A	2前	2							2
	中国語 II B	2後	2							2
	中国語 III A(福岡:未開講)	3前	1							1
	中国語 III B(福岡:未開講)	3後	1							1
	ドイツ語 I A	1前	2							2
	ドイツ語 I B	1後	2							2
	ドイツ語 II A	2前	2							2
	ドイツ語 II B	2後	2							2
	フランス語 I A	1前	2							2
	フランス語 I B	1後	2							2
	フランス語 II A	2前	2							2
	フランス語 II B	2後	2							2
	スペイン語 I A	1前	2							2
	スペイン語 I B	1後	2							2
スペイン語 II A(渋谷:未開講)	2前	2							1	
スペイン語 II B(渋谷:未開講)	2後	2							1	
ロシア語 I A	1前	2							2	
ロシア語 I B	1後	2							2	
ロシア語 II A	2前	2								
ロシア語 II B	2後	2								
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2			1				1
	哲学 II	1後	2			1				1
	心のしくみと行動の科学	1前	2							2
	日本史 I	1前	2						1	1
	日本史 II	1後	2						1	1
	西洋史	1前	2						1	1
	東洋史	1後	2							2
	文学をよむ文化を知る	1前	2							2
	倫理学 I	1前	2							2
	倫理学 II	1後	2							2
地理学 I	1前	2							2	
地理学 II	1後	2							2	
地域再発見	1前	2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会科学系 基礎科目	社会学概論	1後	2								2
	政治学Ⅰ	1前	2		1						1
	政治学Ⅱ	1後	2		1						1
	くらしと法	1前	2								2
	日本国憲法	1後	2								2
自然科学系 基礎科目	動植物の体のしくみ	1前	2								2
	文系のための数学	1前	2								2
	数字でよみとくビジネス	1後	2								2
	動植物の進化のしくみ	1後	2								2
	環境と社会生活	1前	2								2
情報科学系 基礎科目	情報リテラシーⅠ	1前	2								2
	情報リテラシーⅡ	1後	2								2
	情報リテラシーⅢ	2前	2							1	1
	情報リテラシーⅣ	2後	2							1	1
基礎保健体育系	健康科学	1前	2								2
	スポーツA	1前	1								2
	スポーツB	1後	1								2
小計(62科目)		-									
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2		1	1					
	S.D.Seminar B	1後	2		1	1					
	地域貢献Ⅰ	1後	2			1					1
	キャリアデザインⅠA	1前	2			1					1
	キャリアデザインⅠB	1後	2			1					1
	情報リテラシー基礎A	1前	2								2
	情報リテラシー基礎B	1後	2								2
	ROSE(海外研修)Ⅰ	1前	2			1					1
	基礎ゼミA	2前	2		1	1					1
	基礎ゼミB	2後	2		1	1					1
	地域貢献Ⅱ	2後	2			1					1
	情報リテラシー応用A	2前	2				1				1
	情報リテラシー応用B	2後	2				1				1
	キャリアデザインⅡA	2前	2								2
	キャリアデザインⅡB	2後	2								2
	インターンシップ	2前	2								2
	インターンシップ(実習)	2前	2		1						1
	リーダーシップⅠA	2前	2		1	1					1
	リーダーシップⅠB	2後	2		1	1					1
	ROSE(海外研修)Ⅱ	2前	2							1	1
専門ゼミⅠA	3前	2			1				2	1	
専門ゼミⅠB	3後	2			1				2	1	
キャリアデザインⅢA	3前	2								2	
キャリアデザインⅢB	3後	2								2	
リーダーシップⅡA	3前	2			1				2		
リーダーシップⅡB	3後	2			1				2		
ROSE(海外研修)Ⅲ	3前	2								2	
専門ゼミⅡA	4前	2							2		
専門ゼミⅡB	4後	2							2		
卒業論文A	4前	2							2		
卒業論文B	4後	2							2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会科学系 基礎科目	社会学概論	1後	2								2
	政治学Ⅰ	1前	2		1						1
	政治学Ⅱ	1後	2		1						1
	くらしと法	1前	2						1		1
	日本国憲法	1後	2						1		1
自然科学系 基礎科目	動植物の体のしくみ	1前	2								2
	文系のための数学	1前	2								2
	数字でよみとくビジネス	1後	2								2
	動植物の進化のしくみ (福岡:未開講)	1後	2								1
	環境と社会生活	1前	2								2
基礎保健体育系	健康科学	1前	2								2
	スポーツA	1前	1								2
	スポーツB	1後	1								2
	スポーツ	1前後	1								2
小計(64科目)		-									
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2		1	1				1	
	S.D.Seminar B	1後	2		1	1				1	
	地域貢献Ⅰ	1後	2			1					1
	キャリアデザインⅠA	1前	2			1					1
	キャリアデザインⅠB	1後	2			1					1
	情報リテラシー基礎A	1前	2								2
	情報リテラシー基礎B	1後	2								2
	ROSE(海外研修)Ⅰ	1前	2			1					1
	基礎ゼミA	2前	2		1	1					1
	基礎ゼミB	2後	2		1	1					1
	地域貢献Ⅱ	2後	2			1					1
	情報リテラシー応用A	2前	2						1		1
	情報リテラシー応用B	2後	2						1		1
	キャリアデザインⅡA	2前	2								2
	キャリアデザインⅡB	2後	2								2
	インターンシップ	2前	2								2
	インターンシップ(実習)	2前	2		1						1
	リーダーシップⅠA	2前	2		1	1					1
	リーダーシップⅠB	2後	2		1	1					1
	ROSE(海外研修)Ⅱ	2前	2							1	1
専門ゼミⅠA	3前	2			1				2	1	
専門ゼミⅠB	3後	2			1				2	1	
キャリアデザインⅢA	3前	2								2	
キャリアデザインⅢB	3後	2								2	
リーダーシップⅡA	3前	2			1				2		
リーダーシップⅡB	3後	2			1				2		
ROSE(海外研修)Ⅲ	3前	2								2	
専門ゼミⅡA	4前	2							2		
専門ゼミⅡB	4後	2							2		
卒業論文A	4前	2							2		
卒業論文B	4後	2							2		
卒業研究	4通	4									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2					1			1
	経営学 B	1後	2					1			1
	経済学 A	1前		2		1					1
	経済学 B	1後		2		1					1
	簿記原理 I A	1前		2							2
	簿記原理 I B	1後		2							2
	アカデミックライティング I A	1前		1			1				1
	アカデミックライティング I B	1後		1			1				1
	総合英語 I A	1前		1							2
	総合英語 I B	1後		1							2
	マーケティング論 A	2前		2		1		1			
	マーケティング論 B	2後		2		1		1			
	会計学 A	2前		2							2
	会計学 B	2後		2							2
	情報処理論 A	2前		2							2
	情報処理論 B	2後		2							2
	経営組織論	2前		2							2
	会社法	2後		2							2
	資源環境・エネルギー論	2前		2							2
	アカデミックライティング II A	2前		1			1				1
	アカデミックライティング II B	2後		1			1				1
	総合英語 II A	2前		1		1					1
	総合英語 II B	2後		1		1					1
	国際関係論	2前		2							2
	国際経済学 A	2前		2		1					1
	国際経済学 B	2後		2		1					1
	国際経営論	3前		2							1
	ICTビジネス講座	3前		2							1
	経営管理論 A	3前		2							1
	経営管理論 B	3後		2							1
	外書講読	3前		2							1
ホスピタリティ ビジネス	3後		2							1	
国際政治外交史	4前		2								
国際金融論	4後		2								
小計(61科目)		-									
合計(123科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目(語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上)計34単位以上、専門科目(必修科目20単位、選択科目60単位以上)計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: 1年次44単位、2~4年次48単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								2
	経営学 B	1後	2								2
	経済学 A	1前		2		1					1
	経済学 B	1後		2		1					1
	簿記入門	1前		2							2
	簿記初級	1後		2							2
	アカデミックライティング I A	1前		1			1	1			1
	アカデミックライティング I B	1後		1			1	1			1
	総合英語 I A	1前		1							2
	総合英語 I B	1後		1							2
	EIP(イノベーション海外研修) I	1前		2			1				1
	マーケティング論 A	2前		2		1					1
	マーケティング論 B	2後		2		1					1
	会計学 A	2前		2							2
	会計学 B	2後		2							2
	情報処理論 A	2前		2							2
	情報処理論 B	2後		2							2
	経営組織論	2前		2			1				1
	会社法	2後		2			1				1
	資源環境・エネルギー論	2前		2							2
	アカデミックライティング II A	2前		1			2				1
	アカデミックライティング II B	2後		1			2				1
	総合英語 II A	2前		1		1					1
	総合英語 II B	2後		1		1					1
	EIP(イノベーション海外研修) II	2前		2							2
	国際関係論	2前		2					1		1
	国際経済学 A	2前		2		1					1
	国際経済学 B	2後		2		1					1
	Eアラインビジネス論	2後		2							2
	Eアライン実務 A	2前		2							2
	Eアライン実務 B	2前		2							2
国際経営論	3前		2							2	
ICTビジネス講座	3前		2							2	
経営管理論 A	3前		2							2	
経営管理論 B	3後		2							2	
外書講読	3前		2					1		1	
ホスピタリティ ビジネス	3後		2							1	
航空産業論	3後		2							2	
国際政治外交史	4前		2							1	
国際金融論	4後		2							1	
小計(72科目)		-									
合計(136科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目(語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上)計34単位以上、専門科目(必修科目20単位、選択科目60単位以上)計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: 1年次44単位、2~4年次48単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、新規科目として専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員の配置を「教授」から「准教授」に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」の教員配置を「専任 准教授」から「兼任 講師」に変更。

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置（入学定員：20人）したため、1年次配当科目58科目分の専任教員等の配置を追加。
渋谷：専任教授1名「S. D. Seminar A」「S. D. Seminar B」担当。渋谷：専任講師1名「経営学A」「経営学B」担当。その他の科目：兼任・兼任教員が担当。
- ・福岡：専任教授辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授」から「兼任教授」に変更。
- ・福岡：専任教授辞任により、「ROSE(海外語学・経済研修)」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
- ・福岡：専任講師辞任により、「文学をよむ文化を知る(旧:文学)」の専任教員等の配置を「専任講師」から「兼任講師」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「准教授」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「講師」に変更。
- ・グローバルな国際社会で活躍できるよう、「基礎科目 語学系」の第二外国語に新規科目「スペイン語ⅠA・B」（1年次配当科目、各1単位）及び「スペイン語ⅡA・B」（2年次配当科目、各1単位）を追加。
- ・新入生の履修登録において、授業科目名から容易に授業の内容をイメージできるよう平易な科目名に変更。
「心理学」を「心のしくみと行動の科学」、「文学」を「文学をよむ文化を知る」、「文章表現論」を「ヒツソライティング（文章表現）」
「情報社会学」を「ソーシャルメディアとコミュニケーション」、「憲法Ⅰ」を「くらしと法」、「憲法Ⅱ」を「日本国憲法」、「生物学」を「動植物の体のしくみ」、「数学」を「文系のための数学」、「ビジネス統計」を「数字でよみとくビジネス」、「ソシオバイオロジー」を「動植物の進化のしくみ」、「環境論」を「環境と社会生活」に、それぞれ変更した。

【令和2年度】

1. 全 般
平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和2年度、渋谷の2年次配当科目開講に伴う、基礎科目12科目、専門科目27科目、計39科目分の専任教員等の配置を追加した。
なお、渋谷の専任教授1名が「基礎ゼミA・B」及び「リーダーシップⅠA・B」を担当。また、専任講師1名が「マーケティング論A・B」を担当するとともに、その他の科目については兼任・兼任教員が担当した。
2. 専任教員等の配置の変更
・福岡：専任教授辞任により、「基礎ゼミA・B」「地域貢献Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：専任教授辞任により、「アカデミックライティングⅠA・B」及び「アカデミックライティングⅡA・B」を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：専任教授の新規配置により、「インターンシップ(実習)」を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：専任講師辞任(令和元年度)により、「外書講読」(3年次配当科目)の専任教員等の配置を「専任教授」に予定していたが時間割編成において、「兼任講師」に変更。
・福岡：兼任講師辞任により、「経営組織論」の専任教員等の配置を「兼任講師」に変更。
・福岡：専任教授の学科配置により、「インターンシップ(実習)」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「英語ⅤA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「ビジネスイングリッシュⅠA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「ビジネスイングリッシュⅡA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「情報処理論A・B」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「兼任講師」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「専任准教授」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「兼任准教授」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「文系のための数学(旧:数学)」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「兼任講師」に変更。
・渋谷：「スペイン語ⅠA・B」及び「スペイン語ⅡA・B」を未開講のため、「兼任講師」2名から1名(福岡のみ)に変更。
3. 授業科目名の変更(「情報リテラシー」科目)
PCの操作スキルを含む情報処理の能力は、社会人に求められる不可欠な技能であり、その育成は教養教育の範疇に入るものであることから、今まで「専門科目」群に配置していた「情報リテラシー基礎A・B」「情報リテラシー応用A・B」の計4科目を「基礎(教養)科目」群に移設した。
その際、新たに「情報科学系」を設置するとともに、「社会科学系」から「ソーシャルメディアとコミュニケーション」を移設し計5科目を配置した。
なお、授業科目名は、「情報リテラシー基礎A」を「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシー基礎B」を「情報リテラシーⅡ」、「情報リテラシー応用A」を「情報リテラシーⅢ」、「情報リテラシー応用B」を「情報リテラシーⅣ」とした。
4. 授業科目名の変更および新規科目の追加(「ROSE(海外語学・経済研修)」)
「ROSE(海外語学・経済研修)」については、近年、海外提携校等の大幅な増加に伴い、在籍間に2回~3回と短期留学を行う学生が漸増していることから、2年次・3年次配当の短期留学に関する授業科目を追加。また研修目的も語学のみならず文化研修等、多岐に亘っていることから、副題を「海外研修」とした。
なお、授業科目名を「ROSE(海外研修Ⅰ)」（1年次配当科目:2単位）に変更するとともに、新規に「ROSE(海外研修Ⅱ)」（2年次配当科目:2単位）、「ROSE(海外研修Ⅲ)」（3年次配当科目:2単位）を追加した。
5. 配当年次の変更および新規科目の追加(「キャリアデザイン」科目)
1年次から就職活動に対する意識を涵養するとともに、1年次から3年次まできめ細かなキャリア教育を実施するため、今まで2年次配当科目であった「キャリアデザインⅠA・B」を1年次配当科目へ、同じく3年次配当科目であった「キャリアデザインⅡA・B」を2年次配当科目へ移設するとともに、新規に「キャリアデザインⅢA・B」（3年次配当科目:各2単位）を追加した。

【令和3年度】

1. 配当年次の変更
「英語ⅣA」・「英語ⅣB」を1年次配当から2年次配当に変更した。
 2. 専任教員等の配置の変更
 - ・福岡：より細やかな研究指導を実施するため、「専門ゼミⅠA・B」及び「専門ゼミⅡA・B」並びに「卒業論文A・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「専任教授2」に変更。
 - ・福岡：専任講師の新規採用に伴い、「日本史Ⅰ・Ⅱ」及び「英語ⅣA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任講師1」に変更、並びに「国際関係論」の専任教員等の配置を「兼任教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：専任教授の他学科異動に伴い、「英語ⅤA・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」及び「地域貢献Ⅰ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「基礎ゼミA・B」及び「地域貢献Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：准教授から教授への昇任に伴い、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に変更。
 - ・福岡：准教授から教授への昇任に伴い、「英語Ⅰ～Ⅲ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「外書講読」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「くらしと法(旧:憲法Ⅰ)」及び「日本国憲法(旧:憲法Ⅱ)」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「会社法」の専任教員等の配置を「兼任教授1」から「専任准教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「経営組織論」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「インターンシップ(実習)」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「兼任講師1」に担当者変更。
 - ・渋谷：専任教授の辞任により、「S. D. Seminar A・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から新規採用「専任講師1」に、「基礎ゼミA・B」「リーダーシップⅠA・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「兼任准教授1」に担当者変更。
 - ・渋谷：専任講師の辞任により、「経営学A・B」「マーケティング論A・B」の専任教員等の配置を「専任講師1」から「兼任准教授1」に担当者変更。
 - ・渋谷：時間割編成において、「国際経済学A・B」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「兼任教授1」に担当者変更。
 - ・渋谷：担当教員の学科異動に伴い、「アカデミックライティングⅠ」及び「アカデミックライティングⅡ」の専任教員等の配置を「兼任准教授1」から「専任准教授1」に担当者変更。
3. 授業科目名の変更
 - ・授業内容をより的確に表現し学生の履修を容易にするため、基礎：教養科目「情報リテラシーⅠ～Ⅳ」に副題を付けることとし、それぞれ「情報リテラシーⅠ(ビジネススキル)」、「情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス)」、「情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)」に、授業科目名を変更した。
 - ・「卒業論文A・B」は、現行、半期2単位としているが、作成から発表までの過程を含め総合的に評価すべきことから、通年4単位に変更した。また、成果形態の多様性に対応するため、「論文」から「研究」に修正し、授業科目名を「卒業研究」に変更した。
 - ・「簿記原理」は、現在、学会において主流となっている授業科目名とするため、「簿記原理ⅠA」を「簿記入門」に、「簿記原理ⅠB」を「簿記初級」にそれぞれ科目名称を変更した。
 4. 新規科目の追加
 - ・グローバルな国際社会で活躍できるよう、「基礎：語学系科目」の第二外国語GPに、新たに「ロシア語ⅠA・B」(1年次配当科目、各2単位)及び「ロシア語ⅡA・B」(2年次配当科目、各2単位)を追加。
 - ・学生の語学留学を推進するため、「EIP(インテンシブ海外研修)Ⅰ」(1年次配当)及び「EIP(インテンシブ海外研修)Ⅱ」(2年次配当)を追加。
 - ・学生の就職希望の中に「修得した語学力を活かし、将来、航空業界の仕事に就きたい」との希望があり、新たに「エアラインビジネス論」「エアライン実務A・B」(2年次配当)及び「航空産業論」(3年次配当)の4科目追加。
 5. 単位数の変更
学生の学修意欲の向上を狙い、基礎科目の「語学系科目」及び「保健体育系科目(スポーツ)」を実習科目から演習科目とし、それぞれ1単位から2単位に変更した。
<2単位に変更した科目>
 - ・第一外国語「英語Ⅰ～Ⅳ」「ビジネスイングリッシュⅠ・Ⅱ」及び第二外国語「中国語Ⅰ・Ⅱ」「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「フランス語Ⅰ・Ⅱ」「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」をそれぞれ1単位から2単位に変更した。
 - ・保健体育系科目：現行の「スポーツA」「スポーツB」をいずれも「スポーツ」に授業科目名を変更するとともに2単位とした。

【令和4年度】

1. 専任教員等の配置の変更
 - ・福岡：専任教授辞任により、「哲学Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「兼任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「専任准教授1」に担当者変更。
 - ・福岡：専任講師辞任により、「情報リテラシーⅢ、Ⅳ」の専任教員等の配置を「専任講師1」から「兼任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「経営管理論A・B」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任講師1」に担当者変更。
 - ・福岡：時間割編成において、「国際経営論」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任教授1」に担当者変更。
 - ・渋谷：時間割編成において、「基礎ゼミA・B」、「専門ゼミⅠA・B」、「リーダーシップⅠA・B」を「兼任准教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
 - ・渋谷：時間割編成において、「専門ゼミⅠA・B」に「専任講師1」を担当者追加。
 - ・渋谷：時間割編成において「ビジネスイングリッシュⅠA・B」に「専任准教授1」を担当者追加。
2. 新規科目の追加(福岡キャンパスのみ)
 - ・地域の防災において活躍できるよう「専門科目SDプログラム」に、新たに「地域防災論」(1年次配当科目、2単位)を追加。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	103 科目	0 科目	113 科目	10 科目 []	130 科目 [+27]	0 科目 []	140 科目 [+27]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	英語ⅤA	1	2	一般	選択	令和3年度「第一外国語[英語]」は、レベルⅠからレベルⅤまでの5段階で開講していたが、レベルⅤは履修者数が極めて少なく、より効率的なクラス運用とするため、レベルⅣまでに縮小した。
2	英語ⅤB	1	2	一般	選択	
3	中国語ⅢA	1	3	一般	選択	令和3年度「第二外国語[中国語]」は、レベルⅠからレベルⅢまで開講していたが、レベルⅢは履修者数が極めて少ないため、レベルⅡまでに縮小した。
4	中国語ⅢB	1	3	一般	選択	
5	動植物の進化のしくみ	2	1	一般	選択	令和3年度「基礎科目(自然科学系)」の中に、本科目と「動植物の体のしくみ」を開講していたが、2つの内容を統合した授業内容に変更し、「動植物の体のしくみ」のみを開講することとした。
6	スポーツB	1	1	一般	選択	令和3年度「基礎科目(保健体育系)」に、前期「スポーツA」及び後期「スポーツB」を開講していたが、前・後期いずれも「スポーツ」の科目名称とし、「A」「B」の区分を外した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{113} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	渋谷キャンパスの運動場用地は、日本薬科大学運動場10,000㎡を共同利用、法令上の必要面積小計3,663.94㎡ その他 0.00㎡ 合計 3,663.94㎡。 共用は福岡こども短期大学との共用。		
	校舎敷地	59,741.02㎡	0㎡	0㎡	59,741.02㎡			
	運動場用地	17,629.01㎡	7,229.03㎡	0㎡	24,858.04㎡			
	小 計	77,370.03㎡	7,229.03㎡	0㎡	84,599.06㎡			
	そ の 他	49,064.62㎡	0㎡	0㎡	49,064.62㎡			
	合 計	126,434.65㎡	7,229.03㎡	0㎡	133,663.68㎡			
(2) 校 舎	専 用	88,148.68㎡	1,778.00㎡	0㎡	89,926.68㎡			
	(88,148.68㎡)	(1,778.00㎡)	(0㎡)	(89,926.68㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	82 室	34 室	8 室	7 室 (補助職員 5人)	3 室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月、渋谷キャンパスにおいて専任教授1名、専任講師1名を新規配置のため(元)令和2年4月、福岡キャンパスにおいて専任准教授1名を新規採用のため(2)		
	経営学部 グローバルビジネス学科		11 10 9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	経営学部 グローバルビジネス 学科	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0	
	計	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	2,764㎡		641席		210,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,392.02㎡		テニスコート1面、柔道場1、武道場1					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	5,000千円	0千円	0千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		985千円	835千円	835千円	835千円	835千円	835千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	日本経済大学						学生募集停止学科数	1		0	備考
	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地						
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経済学部	4	610		2,240		1.00	0.80	-	昭和43		
経済学科	4	160	-	620	学士(経済学)	1.14	0.91	-	昭和43	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	令和2年定員変更(20)
商学科	4	230	-	920	学士(経済学)	1.00	0.81	-	平成17	同上	
経営法学科	4	-	-	60	学士(経済学)	0.68	-	-	平成19	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	令和2年学生募集停止(△60)
健康スポーツ経営学科	4	220	-	640	学士(健康スポーツ経営学)	0.95	0.70	-	平成24	同上	令和2年定員変更(40) 令和3年定員変更(100)
経営学部	4	800		3,400		1.04	0.84		平成26		
経営学科	4	680	-	2,920	学士(経営学)	1.07	0.85	令和3	平成26	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	平成30年定員変更(△20) 平成31年定員変更(△100) 令和3年定員変更(△100)
グローバルビジネス学科	4	40	-	160	学士(経営学)	0.67	0.50	平成31	平成30	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	平成31年定員変更(20)
芸創プロデュース学科	4	80	-	320	学士(経営学)	0.90	0.87		平成31	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	
大学全体	-	1,410	-	5,640	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	日本経済大学 大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経営学研究科											
経営学専攻(博士前期課程)	2	20	-	40	修士(経営学)	0.95	1.05	-	平成24	東京都渋谷区桜丘町24-5	
経営学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(経営学)	0.33	0.66	-	平成26	同上	
大学院全体	-	23	-	49	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	福岡こども短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
こども教育学科	年	人	年次人	人	短期大学士(こども教育)	倍	倍	-	昭和51年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	
大学全体	-	300	-	600	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】			
専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名		
専	ブルノート 莉好ハス (43) <平成30年4月> 修士(経営学)	専	ブルノート 莉好ハス (43) <平成30年4月> 修士(経営学)	専	ブルノート 莉好ハス (44) <平成30年4月> 修士(経営学)	専	ブルノート 莉好ハス (46) <平成30年4月> 修士(経営学)	専	ブルノート 莉好ハス (47) <平成30年4月> 修士(経営学)		
専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B マーケティング論 A マーケティング論 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 国際経済学 A マーケティング論 A マーケティング論 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II 外書講義	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II
専	h' スタン デイ (47) <平成30年4月> 修士(日本学) イギリス修士(経済学)	専	h' スタン デイ (47) <平成30年4月> 修士(日本学) イギリス修士(経済学)								
専	日本史 I 日本史 II ROSE(海外語学・経済研修) 経済学 A 経済学 B	専	日本史 I 日本史 II ROSE(海外語学・経済研修) 経済学 A 経済学 B								
				専	クレイグ ユアン (52) <平成30年4月> 修士(国際・行動学) 修士(経済学)	専	クレイグ ユアン (53) <平成30年4月> 修士(国際・行動学) 修士(経済学)	専	クレイグ ユアン (54) <平成30年4月> 修士(国際・行動学) 修士(経済学)		
				専	哲学 I 哲学 II 経済学 A 経済学 B マーケティング論 A マーケティング論 B	専	哲学 I 哲学 II 経済学 A 経済学 B マーケティング論 A マーケティング論 B	専	哲学 I 哲学 II 経済学 A 経済学 B マーケティング論 A マーケティング論 B		
専	濱田 幸裕 (61) <平成30年4月> 文学士	専	濱田 幸裕 (61) <平成30年4月> 文学士	専	濱田 幸裕 (62) <平成30年4月> 文学士						
専	英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B 地域貢献 I 総合英語 II A 総合英語 II B	専	英語 II A 英語 II B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B 地域貢献 II 総合英語 II A 総合英語 II B	専	基礎ゼミ A 基礎ゼミ B 地域貢献 II 総合英語 II A 総合英語 II B						
専	ネルソン フミコ (60) <平成30年4月> 学士(経済学)	専	ネルソン フミコ (60) <平成30年4月> 学士(経済学)	専	ネルソン フミコ (61) <平成30年4月> 学士(経済学)						
	7時 55分 10分 I A 7時 55分 10分 I B 7時 55分 10分 II A 7時 55分 10分 II B		7時 55分 10分 I A 7時 55分 10分 I B 7時 55分 10分 II A 7時 55分 10分 II B		7時 55分 10分 I A 7時 55分 10分 I B 7時 55分 10分 II A 7時 55分 10分 II B						
						福岡 専	竹田 知子 (50) <令和2年4月> 学士(文学)	福岡 専	竹田 知子 (51) <令和2年4月> 学士(文学)		
						福岡 専	イノトウツグ イノトウツグ(実習)	福岡 専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B マーケティング論 A マーケティング論 B 国際経済学		
				狭谷 専	高橋 宏誠 (61) <平成31年4月> 博士(学術)	狭谷 専	高橋 宏誠 (62) <令和元年4月> 博士(学術)				
				狭谷 専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B	狭谷 専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B リーダーシップ I A リーダーシップ I B				
専	麻生 雅樹 (50) <平成30年4月> 修士(文学)	専	麻生 雅樹 (50) <平成30年4月> 修士(文学)	専	麻生 雅樹 (51) <平成30年4月> 修士(文学)	専	麻生 雅樹 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	専	麻生 雅樹 (54) <平成30年4月> 修士(文学)		
専	英語 I A 英語 I B 英語 IV A 英語 IV B リーダーシップ I A リーダーシップ I B	専	英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B リーダーシップ I A リーダーシップ I B	専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B リーダーシップ I A リーダーシップ I B	専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B リーダーシップ I A リーダーシップ I B	専	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 本業論文 A 本業論文 B 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B リーダーシップ I A リーダーシップ I B 総合英語 II A 総合英語 II B		
専	榎 健太郎 (32) <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ	専	榎 健太郎 (32) <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ	専	榎 健太郎 (33) <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ	専	榎 健太郎 (34) <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ	専	榎 健太郎 (36) <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ		
専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I リーダーシップ II A リーダーシップ II B	専	S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I リーダーシップ II A リーダーシップ II B	専	ROBE(海外語学・経済研修) リーダーシップ II A リーダーシップ II B	専	ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) リーダーシップ II A リーダーシップ II B リーダーシップ II A リーダーシップ II B 外書講義	専	ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) ROBE(海外語学・経済研修) リーダーシップ II A リーダーシップ II B リーダーシップ II A リーダーシップ II B 外書講義		
								福岡 専	松崎 達一 (50) <令和4年4月> 学士(国際開発学)		
								福岡 専	ロシア語 I A ロシア語 I B ロシア語 II A ロシア語 II B		
専	7時 55分 10分 11分 (38) <平成30年4月> 学士(文学) イギリス	専	7時 55分 10分 11分 (38) <平成30年4月> 学士(文学) イギリス								
専	文学	専	文学								

専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
						金藤 麗一 (41) <令和3年4月> 学士(工学)	金藤 麗一 (41) <令和3年4月> 学士(工学)
渋谷 兼担	教務					地域再発見 スポーツA スポーツB スポーツC(科目廃止) スポーツ(科目名変更) 遊記入門 遊記初級	地域再発見 スポーツA スポーツB スポーツC(科目廃止) スポーツ(科目名変更) 遊記入門 遊記初級
						藤下 あや子 (56) <令和3年4月> 博士(工学)	藤下 あや子 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
渋谷 兼担	教務					文系のための数学	文系のための数学
						多田 隆 (40) <令和3年4月> 博士(経営学)	多田 隆 (40) <令和3年4月> 博士(経営学)
渋谷 兼担	教務					国際経済学A 国際経済学B	国際経済学A 国際経済学B
兼担	准教授	陳 月華 (47) <平成32年4月> 修士(経営学)	陳 月華 (45) <平成32年4月> 修士(経営学)	陳 月華 (46) <平成32年4月> 修士(経営学)	陳 月華 (47) <令和2年4月> 修士(経営学)	陳 月華 (48) <令和2年4月> 修士(経営学)	陳 月華 (49) <令和2年4月> 修士(経営学)
		中国語ⅢA 中国語ⅢB	中国語ⅢA 中国語ⅢB	中国語ⅢA 中国語ⅢB	中国語ⅢA 中国語ⅢB	中国語ⅢA 中国語ⅢB	中国語ⅢA 中国語ⅢB
兼担	准教授	鶴石 蘭 (43) <平成30年4月> 博士(経営学)	鶴石 蘭 (43) <平成30年4月> 博士(経営学)	鶴石 蘭 (44) <平成30年4月> 博士(経営学)			
		増記原理ⅠA 増記原理ⅠB 国際経営論	増記原理ⅠA 増記原理ⅠB 国際経営論	増記原理ⅠA 増記原理ⅠB 国際経営論			
				金 靖 (38) <平成31年4月> 修士(法学)	金 靖 (39) <令和元年4月> 修士(法学)	金 靖 (40) <令和元年4月> 修士(法学)	金 靖 (41) <令和元年4月> 修士(法学)
渋谷 兼担	准教授	＜6.1と法(旧:憲法Ⅰ) 日本憲法(旧:憲法Ⅰ) 憲法Ⅱ＞		＜5.1と法(旧:憲法Ⅰ) 日本憲法(旧:憲法Ⅰ) 会社法＞	＜5.1と法(旧:憲法Ⅰ) 日本憲法(旧:憲法Ⅰ) 会社法＞	＜5.1と法(旧:憲法Ⅰ) 日本憲法(旧:憲法Ⅰ) 会社法＞	＜5.1と法(旧:憲法Ⅰ) 日本憲法(旧:憲法Ⅰ) 会社法＞
				徐 雪青 (43) <平成31年4月> 博士(比較文化)	徐 雪青 (44) <令和元年4月> 博士(比較文化)	徐 雪青 (45) <令和元年4月> 博士(比較文化)	徐 雪青 (46) <令和元年4月> 博士(比較文化)
渋谷 兼担	准教授	英語ⅡA 英語ⅡB		英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB	英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB	英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB	英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB
				福島 綾一 (46) <平成31年4月> 修士(工学)	福島 綾一 (47) <令和元年4月> 修士(工学)	福島 綾一 (48) <令和元年4月> 修士(工学)	福島 綾一 (49) <令和元年4月> 修士(工学)
渋谷 兼担	准教授	情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B スポーツA スポーツB		情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB	情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB	情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB	情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB
				望月 洋祐 (38) <平成31年4月> 修士(教育学)	望月 洋祐 (39) <令和元年4月> 修士(教育学)	望月 洋祐 (40) <令和元年4月> 修士(教育学)	望月 洋祐 (41) <令和元年4月> 修士(教育学)
渋谷 兼担	准教授	数学でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)		数学でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	数学でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	数学でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	数学でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)
				藤原 綾乃 (44) <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 綾乃 (45) <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 綾乃 (46) <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 綾乃 (47) <令和2年4月> 博士(工学)
渋谷 兼担	准教授	経営組織論		経営組織論	経営組織論	経営組織論	経営組織論
				ハマンギ ゴークレ (38) <令和2年4月> 修士(国際学)	ハマンギ ゴークレ (37) <令和2年4月> 修士(国際学)	ハマンギ ゴークレ (37) <令和2年4月> 修士(国際学)	ハマンギ ゴークレ (38) <令和2年4月> 修士(国際学)
渋谷 兼担	准教授	アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB 英語VA 英語VB 国際経済学A 国際経済学B		アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB 英語VA 英語VB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB	アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB 英語VA 英語VB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB	アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB 英語VA 英語VB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB	アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB 英語VA 英語VB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB
				広嶋 心 (50) <令和2年4月> 修士(経営学)			
渋谷 兼担	准教授	健康科学					
				辻本 麻織 (51) <令和2年4月> 博士(商学)	辻本 麻織 (52) <令和2年4月> 博士(商学)	辻本 麻織 (52) <令和2年4月> 博士(商学)	辻本 麻織 (52) <令和2年4月> 博士(商学)
渋谷 兼担	准教授	経営環境・エネルギー論 環境と社会生活 経済学A 経済学B		経営環境・エネルギー論 環境と社会生活 経済学A 経済学B	経営環境・エネルギー論 環境と社会生活 経済学A 経済学B	経営環境・エネルギー論 環境と社会生活 経済学A 経済学B	経営環境・エネルギー論 環境と社会生活 経済学A 経済学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									授答 兼任		三沢 順和 (50) <令和3年4月> 修士(経営学) 簿記入門(旧:簿記原簿I A) 簿記初級(旧:簿記原簿I B)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には「設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)」を黒字で記入してください。
- その上で、**既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加、ブルーノ カート クリスチャン教授が担当予定。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任 濱田幸裕教授から専任 麻生雅樹准教授に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」を専任 麻生雅樹准教授から兼任 ラザ マニー講師に変更。
- ・平成30年4月 ラザ マニー 講師就任。他学科（経済学科）に所属し、兼任として本学科の授業科目「英語ⅣA・B」を担当。
- ・設置届出書において、エドワーズ ディビッドは、本来「兼任」であったのを「兼任」と表記してしまいました。申し訳ありません。訂正させていただきます。

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置することにより、1年次配当科目の教育担当者25名を追加。（専任教授1名、専任講師1名、兼任教授8名、兼任准教授4名、兼任講師2名、兼任講師9名）
- ・福岡：専任セバスチャン テイキン教授の辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」は兼任竹川克幸教授に、「ROSE（海外語学・経済研修）」は専任椿健太郎准教授に、「経済学A・B」は新規採用の専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：専任アレクサンダー アンドリュウ講師の辞任により、「文学（現：文学をよむ文化を知る）」は兼任大塚幸子講師に、「外書講読」は専任ブルーノ カート クリスチャン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「マーケティング論A・B」を専任ブルーノ カート クリスチャン教授から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「哲学Ⅰ・Ⅱ」を兼任渡部和隆講師から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」を専任椿健太郎准教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」を専任濱田幸裕教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任麻生雅樹准教授から新規採用専任ジョセフ マイヨール講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任渡部和隆講師の辞任により、「倫理学Ⅰ・Ⅱ」を兼任能木敬次講師に担当者変更。

【令和2年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和2年度、渋谷キャンパスの2年次配当科目の教育担当者11名を追加。（兼任教授2名、兼任准教授3名、兼任講師6名）
- ・学生の短期海外留学を推進するため、「ROSE（海外研修）Ⅱ」（2年次配当）及び「ROSE（海外研修）Ⅲ」（3年次配当）を新規追加し、福岡は 専任椿健太郎准教授、渋谷は兼任古賀都人教授が担当。
- ・福岡：専任濱田幸裕教授の辞任により、「基礎ゼミA・B」は新規配置専任吉原さくら准教授に、「総合英語ⅡA・B」は専任ジョセフ・マイヨール教授に担当者変更。
- ・福岡：専任ネルソンフミコ教授の辞任により、「アカデミックライティングⅠA・B」及び「アカデミックライティングⅡA・B」は新規採用専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：専任竹田津知子教授の新規配置により、「インターンシップ（実習）」を兼任森由紀講師から担当者変更。
- ・福岡：専任メルヒサトハヤシ准教授の新規採用により、専任ジョセフマイヨール教授の「英語ⅢA・B」及び兼任バルドロメロホーヘ講師の「ビジネスリサーチⅠA・B」をメルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任嘉島叶人講師の新規採用により「ICTビジネス講座B」を兼任森由紀講師から担当者変更。
- ・福岡：兼任井上伸明教授の辞任により「情報処理論A・B」を新規採用兼任矢城信吾講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任ランドリガン講師の辞任により「英語ⅤA・B」を専任ジョセフマイヨール教授に担当者変更
- ・福岡：兼任鶴石蘭准教授の辞任により「簿記原理ⅠA・B」を兼任谷和也教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任市川千尋教授の神戸キャンパス転属により「国際金融論」を兼任八杉哲教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任ハリソンブレント講師の辞任により「文系のための数学（旧：数学）」を兼任バルドロメロホーヘ講師に「数字でよみとくビジネス（旧：ビジネス統計）」を兼任アラガノロベリン講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任吉田雅彦講師の辞任により「経営組織論」を兼任篠原淳講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任床並征生講師の辞任により「経営管理論A・B」を兼任篠原淳講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任濱田瑞利講師の辞任により「スペイン語ⅠA・B」「スペイン語ⅡA・B」を兼任ロドリゴMエレラ講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「ビジネスリサーチⅡA・B」を兼任バルドロメロホーヘ講師から専任椿健太郎准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」を兼任古賀都人教授から新規採用兼任ヘミングウェイ准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「健康科学」を兼任赤瀬朋秀教授から兼任広崎心准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「文系のための数学（旧：数学）」を兼任佐藤一朗講師から兼任川村哲也講師に担当者変更。
- ・渋谷：兼任建宮務講師の辞任により、「簿記原理ⅠA・B」を兼任曹勤講師に担当者変更。

【令和3年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和3年度、渋谷キャンパスの3年次配当科目の教育のため、6人の教員（専任准教授1人、専任講師1人、兼任教授3人、兼任准教授1人）が新たに3年次配当科目を担当。
- ・本学科のグローバル化を推進するため、基礎・語学系科目の第二外国語グループに、「ロシア語ⅠA・B」（1年次配当）及び「ロシア語ⅡA・B」（2年次配当）を新規追加し、福岡は兼任松崎進一講師が担当。渋谷は兼任タンコヴァツチュリア講師が担当。
- ・学生の語学留学を推進するため、「EIP（インテンシブ海外研修）Ⅰ」（1年次配当）及び「EIP（インテンシブ海外研修）Ⅱ」（2年次配当）を新規追加し、福岡は専任椿健太郎准教授が担当、渋谷は兼任古賀都人教授が担当。
- ・学生の就職希望の中に「修得した語学力を活かして、将来、航空業界の仕事に就きたい」との希望があり、新たに「エアラインビジネス論」「エアライン実務A・B」（2年次配当）及び「航空産業論」（3年次配当）の4科目（担当予定 福岡：兼任新井敦子教授）を新規追加した。
- ・福岡：「専門ゼミⅠ・Ⅱ」及び「卒業論文A・B」において、より細やかな研究指導を実施するため、少人数クラスを編成。従来のブルーノカートクリスチャン教授に加え、専任麻生雅樹教授を配置し二人体制とした。
- ・福岡：スベラタマリア講師の新規専任採用に伴い、「日本史Ⅰ・Ⅱ」（兼任竹川克幸教授）、「英語ⅣA・B」（兼任ラザマニー講師）及び「アカデミックライティングⅠA・B」（専任メルヒサトハヤシ准教授）を専任スベラタマリア講師に担当者変更。
- ・福岡：専任ジョセフマイヨール教授の他学部異動に伴い、「英語ⅤA・B」を専任スベラタマリア講師及び「総合英語ⅡA・B」を専任麻生雅樹教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任ラフマン教授の定年退職に伴い、「社会学概論」を兼任太田智之講師に、「国際関係論」を専任スベラタマリア講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任アンショウキース講師の辞職に伴い、「環境と社会生活（旧：環境論）」を兼任デジロイバルテレミ講師に、「資源環境・エネルギー論」を兼任内田浩幸教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任中村彰夫の辞任に伴い、「地理学Ⅰ・Ⅱ」を兼任泉浦知仁講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任大塚幸子講師の辞任に伴い、「文学をよむ文化を知る（旧：文学）」を兼任金井昌平教授に担当者変更。
- ・福岡：「中国語ⅢA・B」の科目廃止に伴い、兼任陳月華准教授は「中国語ⅡA・B」を担当。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」及び「地域貢献Ⅱ」を専任麻生雅樹教授から専任竹田津知子教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「基礎ゼミA・B」及び「地域貢献Ⅱ」を専任吉原さくら教授から専任竹田津知子教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任メルヒサトハヤシ准教授から専任麻生雅樹教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「外書講読」を兼任マクレーンベイリーアレクサンダー講師から専任椿健太郎准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「くらしと法（旧：憲法Ⅰ）」及び「日本国憲法（旧：憲法Ⅱ）」を兼任後藤浩士講師から専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「会社法」（兼任上野真二教授）及び「経営組織論」（兼任篠原淳講師）を専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「経営管理論」（兼任篠原淳講師）及び「国際経営論」（兼任八杉哲教授）を兼任于映爽講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「国際金融論」を兼任八杉哲教授から兼任南英郎講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「情報処理論A・B」を兼任矢城信吾講師から兼任教授長濱和代教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「インターンシップ（実習）」を専任竹田津知子教授から兼任森由紀講師に担当者変更。

- ・ 渋谷：専任高橋宏誠教授の辞任により、「S.D.Seminar A・B」を新規専任マクニツカサドカドライアノ講師に、「基礎ゼミ A・B」「リーダーシップ I A・I B」を兼担望月洋佑准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：専任アルマヤットオマリ講師の辞任により、「経営学 A・B」「マーケティング論 A・B」を兼担増田昌幸准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼担小松久生教授の辞任により、「地理学 A・B」を兼任出川清一講師に、「地域再発見」を兼担金森慶一教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼担川村哲也講師の辞任により、「文系のための数学(旧:数学)」を兼担森下あや子教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「健康科学」を兼担広崎心准教授から兼担赤瀬朋秀教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「経済学 A・B」を兼任スラヤタスノハ講師から兼担辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「環境と社会生活」を兼任海上知明講師から兼担辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「資源環境・エネルギー論」を兼任生田章一講師から兼担辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「簿記入門(旧:簿記原理 I A)」及び「簿記初級(旧:簿記原理 I B)」を兼任曹勤講師から兼任三沢義和講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において、「国際経済学 A・B」を新規専任ヘマンギョウクレ准教授から兼担多田稔教授に担当者変更。

【令和4年度】

- ・ 福岡：専任クレイグユアン教授辞任に伴い、「経済学 A・B」専任ブルーノカートクリスチャンス教授に担当者変更。
- ・ 福岡：専任クレイグユアン教授辞任に伴い、「哲学 I・II」兼任能木慧講師に担当者変更。
- ・ 福岡：専任クレイグユアン教授辞任に伴い、「マーケティング論 A・B」専任竹田津知子教授に担当者変更
- ・ 福岡：時間割編成において、「英語 II A・B」を専任麻生雅樹教授から専任メルヒサトハヤン准教授に担当者変更。
- ・ 福岡：「ロシア語 I A・B」、「ロシア語 II A・B」を兼担松崎進一准教授に担当者追加。
- ・ 福岡：時間割編成において、「国際政治外交史」を兼担平誠一教授から専任メルヒサトハヤン准教授に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「社会学概論」を兼担太田智之講師から専任メルヒサトハヤン准教授に担当者変更。
- ・ 福岡：専任ニューマンダニエル講師辞任に伴い、「情報リテラシーⅢ・Ⅳ」兼担ニューエンポビー講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「国際金融論」を兼担角南英郎講師から兼担八杉哲教授に担当者変更。
- ・ 福岡：新規科目「地域防災論」を兼担内田浩幸教授に担当者追加。
- ・ 福岡：時間割編成において、「西洋史」を兼担マクレーンベイリアーレキサンダー講師から兼任庄司幸世講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「東洋史」を兼担マクレーンベイリアーレキサンダー講師から兼任勝本英明講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「数字でよみとくビジネス」を兼担アラガノロベリン講師から兼担矢城信吾講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「経営管理論 A・B」を兼担于院爽講師から専任テセロジャレッド講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「国際経営論」を兼担于院爽講師から専任竹田津知子教授に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「中国語 I A・B」を兼任王曉芳講師から兼任毛盤講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「中国語 I A・B」を兼任趙雪梅講師から兼任趙一嶼講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「倫理学 I・II」を兼任能木敬次講師から兼任能木慧講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「キャリアデザイン II A・B」を兼任野佑妃子講師から兼担西村大子講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「スペイン語 I A・B」、「スペイン語 II A・B」を兼任ロドリゴエレラ講師から兼任イシドロディアス講師に担当者変更。
- ・ 福岡：時間割編成において、「キャリアデザイン II A・B」を兼任野佑妃子講師から兼担西村大子講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「S.D.Seminar A・B」「EIP(インテンシブ研修) II」を兼担古賀郁人教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「基礎ゼミ A・B」「専門ゼミ I A・I B」「リーダーシップ I A・I B」を専任マクニツカサドカドライアノ講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「専門ゼミ II A・II B」「卒業論文 A・B」「卒業研究」を兼担望月洋佑准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「ビジネスイングリッシュ I A・I B」を専任ヘマンギョウクレ准教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「国際政治外交史」4年次配当科目を兼任李承宰講師に委任。
- ・ 渋谷：時間割編成において「ロシア語 II A・II B」新規開講科目をタンコヴィツチュリア講師に委任。
- ・ 渋谷：時間割編成において「スポーツ」を兼担金森慶一教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：時間割編成において「インターンシップ(実習)」「インターンシップ」「キャリアデザイン III A・III B」を兼担鎌田雅子講師が担当。
- ・ 渋谷：時間割編成において「国際金融論」を兼担木下義文教授が担当。
- ・ 渋谷：時間割編成において「エアラインビジネス論」「ホスピタリティビジネス」新規開講科目を兼任飯田誠一講師に委任。
- ・ 渋谷：兼任三沢義和講師の辞任により「簿記入門」「簿記初級」を兼担金森慶一教授に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼任笠井亮平講師の辞任により「政治学 I・II」を兼任佐藤一明講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼任黒田正平講師の辞任により「文学をよむ文化を知る(旧:文学)」を兼任曹恩美講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼任高橋庄子講師の辞任により「中国語 I A・I B」を兼任神野智久講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼任曹勤講師の辞任により「会計学 A・B」を兼任八木裕之講師に担当者変更。
- ・ 渋谷：兼任フェデリコペレス講師の辞任により「スペイン語 I A・I B」「スペイン語 II A・II B」を兼任カルロスアルバロベルトリ講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A・C教員審査)を受けてください。**A・C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A・C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	0	8	0	4	3	3	0	10	0
(4)	(2)	(2)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	3	3	0	10	0	4	3	3	0	10	0
[-]	[+1]	[+1]	[-]	[+2]	[-]	[-]	[+1]	[+1]	[-]	[+2]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 准教授、講師：60 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{8} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	00	科目	必修	00	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	00	科目	選択	00	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	00	科目	自由	00	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	セバスタン デイヴ	H31.3	選択	日本史 I	②	H31.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）			
				選択	日本史 II	②				
				選択	ROSE（海外語学・経済研修）	①				
				選択	経済学 A	①				
2	講師	アレクサンダー アントニオ	H31.3	文字（現・文学をよむ文化を知る）	②	H31.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）				
				選択	外書講読		①			
3	教授	濱田 幸裕	R2.3	必修	基礎ゼミ A	①	R2.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）			
				必修	基礎ゼミ B	①				
				選択	総合英語 II A	①				
				選択	総合英語 II B	①				
4	教授	ネルソン フミコ	R2.3	選択	アカデミックライティング I A	①	R2.3.31付け、教育研究以外の業務遂行のため辞任（元）			
				選択	アカデミックライティング I B	①				
				選択	アカデミックライティング II A	①				
				選択	アカデミックライティング II B	①				
5	教授	ジョセフ マイヨール	R3.3	選択	英語 V A	①	R3.4.1付け、他学部への配置変換のため転出（元）			
				選択	英語 V B	①				
				選択	総合英語 II A	①				
				選択	総合英語 II B	①				
6	教授	高橋 宏誠	R3.3	必修	S. D. Seminar A	①	R3.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）			
				必修	S. D. Seminar B	①				
				必修	基礎ゼミ A	②				
				必修	基礎ゼミ B	②				
				選択	リーダーシップ I A	②				
				選択	リーダーシップ I B	②				
7	講師	アレックス サトウ オズマツリ	R3.3	必修	経営学 A	②	R3.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）			
				必修	経営学 B	②				
				選択	マーケティング論 A	②				
				選択	マーケティング論 B	②				
8	講師	ニューマン ダニエル	R4.3	選択	情報リテラシー III	②	R4.3.31付け、一身上の都合（体調不良）のため辞任（元）			
				選択	情報リテラシー IV	②				
9	教授	クレイグ ユアン	R4.3	選択	哲学 I	②	R4.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）			
				選択	哲学 II	②				
				選択	経済学 A	①				
				選択	経済学 B	①				
				選択	マーケティング論 A	①				
				選択	マーケティング論 B	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
9	人	必修	8	科目	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	29	科目	選択	18	科目	選択	11	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	37	科目	計	22	科目	計	15	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

- また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
9 人	必修	8 科目	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
	選択	29 科目	選択	18 科目	選択	11 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	37 科目	計	22 科目	計	15 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = 112.5 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2

 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当者なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 専任教員2人の辞任等に伴い、デゼロ ジャレッド講師を新規採用して本学科に配置し、学生への影響が出ないよう対応することができた。なお、ネイティブの教員の起用であり、学科の特性をさらに高めることができると思料する。</p> <p>【学生への周知方法】 学生への周知については、年度当初の履修ガイダンスにおいて担当者変更の旨を周知し、学生の混乱はなかった。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	比較的高い割合で退学者等が発生していることから、退学等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。	指摘事項 (改善) クラス担任による日々の細かな個別サポートや個別面談を実施。また国際部による留学や国際交流に対するサポートを実施。経済的困窮者には、学内における給付型奨学金の定員増加や学費の延納にも対応している。	履行中 引き続き、クラス担任によるサポートや関係各所によるサポートを継続するとともに、経済的困窮者にもきめ細かく対応していきます。
	専任教員の辞任が多く、教員就任承諾が適正に行われていたか原因を分析するとともに就任辞退にむけて適切な取組をすること。	指摘事項 (改善) 就任承諾に関しては複数の面談を通じて専門性と適性を確認し、本人の特性と意向も十分に考慮し、相互納得の上で就任に至っている。辞任者の減少に向けては、面談や所属長へ相談できることとし、常に共有できるようコミュニケーションに務めている。	履行中 引き続き、オリエンテーションや面談を実施し、所属長への相談や推奨するとともに、引き続きコミュニケーションの拡大を図る等、きめ細かく対応していきます。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘**を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ FD委員会
- ・ SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会

必要に応じ開催、構成員；福岡：教員8名、渋谷：教員：教員9名

SD委員会

必要に応じ開催、構成員；福岡：教職員6名、渋谷：教職員4名

c 委員会の審議事項等

FD委員会

- ・ FD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・ FDに関する報告書等の作成に関すること。
- ・ FDに関する調査・研究に関すること。
- ・ 教育内容及び教育環境の改善に関すること。
- ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。
- ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。
 - ・ 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・ その他FDの推進及び委員会に関すること。

SD委員会

- ・ SD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・ SDに関する報告書等の作成に関すること。
- ・ SDに関する調査・研究に関すること。
- ・ 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。
- ・ その他、学長の諮問する事項等

② 実施状況

a 実施内容

FD委員会

- ・ 授業方法についての研究
- ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施
- ・ 教員による授業参観の企画・実施
- ・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について
- ・ 新任教員のための研修会の企画・実施
- ・ 学外FDフォーラム等研修会への参加

SD委員会

- ・ 職員の資質向上を図るための普及教育
- ・ 新任職員のための研修会
- ・ 学外SDフォーラム等研修会への参加

b 実施方法

FD委員会

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
(学生による授業評価アンケート結果が高い教員の授業実施要領を研修し参考にする。)
- ・ 全教員のための研修会の企画・実施
- ・ FD委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
- ・ FD委員会における懸案事項を各学科長から各学科の教員に伝達し情報を共有する。
- ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底

SD委員会

- ・ 職員のための研修会の企画・実施
- ・ 内容により、全職員対象の研修会の実施、または全職員へのメール送信による徹底

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

<FD委員会>

- | | | |
|--|------------|--------------------|
| ・ 教職員オリエンテーション | R3. 04. 01 | 教職員研修66名参加 (渋谷) |
| ・ 留学生管理研修会 | R3. 05. 07 | 教職員研修65名参加 (福岡・渋谷) |
| ・ 入試広報研修会 | R3. 09. 10 | 教職員研修68名参加 (福岡) |
| ・ ハラスメント防止研修会 | R3. 07. 02 | 教職員研修67名参加 (渋谷) |
| ・ 教員研究発表会 | R3. 07. 29 | 教員研修57名参加 (渋谷) |
| ・ 留学生事情研修会 | R3. 06. 25 | 教職員研修57名参加 (渋谷) |
| ・ 著作権と授業に関する研修会 | R3. 09. 06 | 教員研修44名参加 (渋谷) |
| ・ 教員研究倫理研修 (eラーニング) | R3. 10. 01 | 教員研修35名参加 (渋谷) |
| ・ FD/SD研修会～ハラスメント研修他～ | R3. 12. 03 | 教職員研修60名参加 (福岡) |
| ・ FD/SD研修会
～学生向けシステム(PEAK)概要、運用方法説明会～
～勤怠管理システム(RecoRu)概要、運用方法説明会～ | R4. 02. 04 | 教職員研修50名参加 (福岡・渋谷) |
| ・ FD/SD研修会
～学生向けシステム(PEAK)、デモ・機能詳細説明～
～勤怠管理システム(RecoRu)入力等詳細説明～ | R4. 02. 05 | 教職員研修63名参加 (福岡・渋谷) |
| ・ FD/SD研修会
～学生向けシステム(PEAK)運用方法説明～
～PEAK運用リハ(各種ゼミ担当教員のみ) | R4. 03. 11 | 教員研修61名参加 (福岡・渋谷) |

<SD委員会>

- ・教職員オリエンテーション R3.04.01 教職員研修66名参加 (渋谷)
- ・留学生管理研修会 R3.05.07 教職員研修65名参加 (福岡・渋谷)
- ・入試広報研修会 R3.09.10 教職員研修68名参加 (福岡)
- ・ハラスメント防止研修会 R3.07.02 教職員研修67名参加 (渋谷)
- ・留学生事情研修会 R3.06.25 教職員研修57名参加 (渋谷)
- ・FD/SD研修会～ハラスメント研修他～ R3.12.03 教職員研修60名参加 (福岡)
- ・職員マナー研修会_第1回 R3.12.07 事務職員研修30名参加 (福岡)
- ・職員マナー研修会_第2回 R3.12.22 事務職員研修29名参加 (福岡)
- ・職員マナー研修会_第3回 R4.01.11 事務職員研修28名参加 (福岡)
- ・FD/SD研修会 R4.02.04 教職員研修50名参加 (福岡・渋谷)
 - ～学生向けシステム(PEAK)概要、運用方法説明会～
 - ～勤怠管理システム(RecoRu)概要、運用方法説明会～
- ・職員マナー研修会_第4回 R4.02.15 事務職員研修29名参加 (福岡)
- ・FD/SD研修会 R4.02.05 教職員研修63名参加 (福岡・渋谷)
 - ～学生向けシステム(PEAK)、デモ・機能詳細説明～
 - ～勤怠管理システム(RecoRu)入力等詳細説明～
- ・職員マナー研修会_第5回 R4.03.01 事務職員研修29名参加 (福岡)
- ・FD/SD研修会 R4.03.11 教員研修61名参加 (福岡・渋谷)
 - ～学生向けシステム(PEAK)運用方法説明～
 - ～PEAK運用リハ(各種ゼミ担当教員のみ)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収
- ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上
- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。春学期、秋学期とも14～15週目に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果(改善策を記入済)を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上にアンケート結果を情報公開

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

アドミッションポリシーとカリキュラムポリシーについて

・日本経済大学では、以下のアドミッションポリシーを掲げて学生を募集しているが、特に経営学部のグローバルビジネス学科には、2つ目の「国際的経済・経営分野に強い関心を持つ人」や3つ目の「将来グローバルなビジネス分野で活躍できる知識と語学力を身につけたい人」は関連性が高い。

【アドミッションポリシー】

- ・自分らしい個性の確立をめざし、自己の実現に向けて専門職をめざす人
- ・国際的経済・経営分野に強い関心を持つ人
- ・将来グローバルなビジネス分野で活躍できる知識と語学力を身につけたい人
- ・アントレプレナーや創業支援をめざす人
- ・家業の承継ならびに事業の継続・発展をめざす人
- ・日本文化と日本的ビジネスに強い興味を持つ人

・上記のようなアドミッションポリシーを踏まえ、グローバルビジネス学科では、以下のようなカリキュラムポリシーに基づき、教育課程を編成している。

【カリキュラムポリシー】

グローバルビジネス学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身につけるとともに卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、基礎(語学系)科目のみならず学科専門科目においても、ビジネスで欠かせない英語力を培う「総合英語」や「アカデミックライティング」などの科目を置く。

また、語学系科目を除く基礎科目および専門科目に、卒業に必要な124単位中、100単位程度は英語による授業を選択することができるようにし、英語での授業を通して、専門的知識や思考力のみならず、ビジネス展開のうえでのハイレベルな会話が英語で可能となるよう授業の達成目標を設定する。

カリキュラムポリシーから見た教育課程の評価

・上記のカリキュラムポリシーに記載している通り、グローバルビジネス学科は、英語により経営学分野の専門科目や基礎科目を学ぶことを特徴としている。100単位程度を英語で学べる科目を選択できる教育課程も構築できている。令和4年度に関しては、エアラインマネジメントコースの学修目標を達成できるように、観光ビジネスに関する科目を6科目（12単位）追加した。

・このような教育課程を実施するために相応しい専門的知識と英語による教授力のある専任教員を揃えている。令和4年5月1日現在は、11名の専任教員が所属し、そのうち7名は英語がネイティブである。尚、設置計画における完成年度時の専任教員数は8名であり、令和4年5月1日現在、その計画を達成できている。令和3年度に退職者がいたものの、適切に補充を行った。その結果、教員不在による未開講科目は無く、設置計画時の教育課程を実施できている。

・令和4年度（4月1日付）には英語ネイティブの教員が新規着任している。

学修支援について

・令和4年度の入学者数は20名であり、入学定員40名を下回っていたものの、以下のように、当学科のこれまでの課題に対しては、対策を講じ、入学後の退学者や転学科を減らすよう努めている。

・当学科のこれまでの課題は、主に以下の2点あった。

- ① 英語での授業についていくことができず、転学科や退学を選択する学生がいる。
- ② 留学に伴う経済的負担を賄うことが困難で、転学科や退学を選択する学生がいる。

・上記2点の課題については、以下のような入学者選抜や入学後の学修支援を実施し、対策を講じている。それにより、英語で専門科目、基礎科目を学ぶというカリキュラムポリシーの水準から妥当な入学者を入学試験で選抜して入学させたり、教育課程や学科の学修の特徴を理解して入学できるように工夫したり、入学後の学修や生活に対する支援を提供している。

①に対する対策：

・英語による専門科目の教育を受ける能力を判断するため、次のような入試の方針をとっている。

▼一般選抜での「英語」の選択を必須としている。日本経済大学の一般選抜は3科目から2科目を任意に選択できるが、当学科志願者については、「英語」の選択を必須としている。

▼総合型選抜では、英語によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を評価するために、(1) 英語による自己PRの口頭説明、および(2) 英語による質疑（一部）を実施している。

・専門科目の授業は、英語ネイティブの教員を中心に行っているが、教員人は外国人であっても、十分な日本語力がある。そのため、英語で理解できない場合には、適宜日本語で解説を補い、学生の理解度に応じた教育を実施している。

・どの程度の英語力が求められるのか、入学前に理解ができるよう、オープンキャンパスや出張授業にて専任教員が英語による模擬授業を行っている。

・令和3年度は、2年間、同じゼミ教員の下で学ぶ体制をとっており、学生の状況をよく理解した教員が、継続的に学修と生活に関する支援を提供できるようになっている（1年次と2年次が同じゼミ教員、3年次と4年次が同じゼミ教員である）。2年間、同じゼミ教員が担当する体制は、令和4年度も継続している。

・3、4年次のゼミ教員については、学生の英語力に応じて教員を当てている。これにより、英語力が相対的に高い学生に対しては、英語での学修の機会を増やし、英語力の向上を図っている。一方、英語力が相対的に低い学生に対しては、英語の習熟度に応じた指導を行ったり、他の科目を学ぶ上での相談に応じたり、英語での学修上の悩みにも適切な助言を与えるよう努めている。

②に対する対策：

・留学に対する費用負担を補助するため、当学科では以前より、「グローバル特待生留学制度」を設けている。これは、選考を経た学生に対して、当学科の学生対象の留学プログラムに無料で参加できる制度となっている。この制度は、令和3年度入学生に対しても、令和4年度入学生に対しても提供している。

・海外渡航を伴う留学だけでなく、オンラインで学べる留学プログラムも提供することで、経済的負担の少ない留学の機会を提供している。また、オンライン留学プログラムは、大学案内でも紹介したり、単独の配布資料も作成し高校に提供し、入学前から認知されるよう図っている。

・留学にかかる費用については、入試要項にも目安として記載しており、入学前から費用負担の規模を想定できるようにしている。

①と②に共通する対策：当学科の学科長が高校に説明に趣き、教育課程の特徴や留学の機会と費用、求められる英語力の水準等を説明し、入学後のミスマッチを防ぐように努めている。

グローバルに活躍できる能力の育成の環境について

- ・卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、留学の機会を充実させている。海外提携校は30カ国・地域の95校に達し、学生は自分の興味関心に応じ、世界のあらゆる地域学ぶ場を選択できる体制を整えている。
- ・学内においても、国際交流のイベントを多数開催して、英語によるコミュニケーションの実戦の機会を提供している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年10月末 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和4年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

日本経済大学 F D委員会運営規程

(名 称)

第1条 本委員会は、F D委員会と称し、学長の指示を受け運営する。

(目 的)

第2条 本委員会は、本学の教育職員が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動(以下「F D」という)を推進することを目的とする。

(任 務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、F Dを推進するための活動を行う。

- (1) F D推進のための企画及び実施に関すること。
- (2) F Dに関する報告書等の作成に関すること。
- (3) F Dに関する調査・研究に関すること。
- (4) 教育内容及び教育環境の改善に関すること。
- (5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。
- (6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。
- (7) 教育職員の資質開発を図るための組織的な研修に関すること。
- (8) その他F Dの推進及び委員会に関すること。

(構 成)

第4条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長、キャンパス長、教務部長、経済学科長、経営学科長、商学科長、経営法学科長及び健康スポーツ経営学科長、及び学長が指名する教員
- (2) 任期はこれを定めず、前項の役職就任と同時にF D委員に就任し、又、役職を離れると同時にF D委員の任を解かれるものとする。学長が指名した委員についての任期は学長の指示によるものとする。

(組 織)

第5条 本委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は各学部長とし、学部長間で互選する。各キャンパスにおいて、全学F D委員会とは別に、各キャンパスのF D委員会を設置することができる。その委員長は学長の指名による。

(審 議)

第6条 委員会の審議については次のごとく定める。

- (1) 委員長は必要に応じて本委員会を招集し、会議を主催する。
- (2) 本委員会の審議に必要な資料等の作成には、教務部がこれにあたる。

(議 決)

第7条 本委員会は全委員の三分の二以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(部 会)

第8条 委員会の下にF D推進部会を設置する。また、各キャンパスのF D委員会の下に各キャンパスのF D推進部会を設けることができる。

- 2 部会長及び構成員は委員長が指名する。
- 3 部会は、F D委員会からの委嘱事項について審議する。

(改 廃)

第9条 本運営規程の改廃は、委員長の発議により本委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則 この規程は平成19年4月1日から施行する。

附 則 この規程は平成22年4月1日から施行する。

附 則 この規程は平成24年4月1日から施行する。

附 則 この規程は平成27年4月1日から施行する。

日本経済大学 SD委員会運営規程

(名 称)

第1条 本委員会は、SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会と称し、学長の指示を受け運用する。

(目 的)

第2条 本委員会は、本学の職員の資質の向上を図り、もって大学の運営に組織的に取り組む活動（以下「SD」という）を推進することを目的とする。

(任 務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、SDを推進するための活動を行う。

- (1) SD推進のための企画及び実施に関すること。
- (2) SDに関する報告書等の作成に関すること。
- (3) SDに関する調査・研究に関すること。
- (4) 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。
- (5) その他、学長の諮問する事項等

(構 成)

第4条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長、事務長、キャンパス長、事務次長、及び学長が指定する職員
- (2) 任期はこれを定めず、前項の役職就任と同時にSD委員に就任し、又、役職を離れると同時にSD委員の任を解かれるものとする。

(組 織)

第5条 本委員会に各キャンパス別の委員会を置く。各キャンパス別の委員長は各事務長とし、本委員会の委員長は、事務長間で互選する。学長の指示により、各キャンパス別の委員長、又は本委員会の委員長は、その職務を他の者に委嘱することができる。

(審 議)

第6条 委員会の審議については次のごとく定める。

- (1) 委員長は必要に応じて本委員会を招集し、会議を主催する。
- (2) 本委員会の審議に必要な資料等の作成は、庶務課がこれにあたる。

(議 決)

第7条 本委員会は全委員の三分の二以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(改 廃)

第8条 本運営規程の改廃は、委員長の発議により本委員会の議を経てこれを行うものとする。

付 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。